

## 大学院生交流

藤塚 静治

(平成 29 年度学校経営コース修了)

2017 年 11 月 12 日 (日)、北京師範大学珠海分校にて「中日教師教育フォーラム in 珠海 (北京師範大学珠海分校教育学院・新潟大学教育学部友好交流十周年記念大会)」が開催された。午後からの第Ⅱ部分科会の大学院生フォーラムにおいて、交流が行われた。

新潟大学からは 4 名の教職大学院 2 年生が、各自の研究についての発表を行った。

氏名	研究テーマ
大矢 康之	生徒指導を基盤とした活力ある学校づくり
金田 良哉	地域との連携を深める教育の推進
舘岡 信也	学校と地域が理念を共有する学校づくりに向けて
藤塚 静治	特別活動を核とした学校づくり

一人当たりの発表予定時間は、意見交換を含めて 25 分間が設定されていた。進行は、新潟大学教職大学院の雲尾周准教授が行った。

私は、学校教育目標や重点目標を踏まえて、各学級・学年が年間においてどのように取り組むべきかを大切にすることや、全職員で自校に存在する課題を解決すべく実践的に解決にあたり、その結果を共有していく学校づくりの取組について報告した。

北京師範大学の胡学亮教授は、私たち 4 人の研究内容にある価値を取り上げ、自校の大学院生に対して説明を行った。中国の大学院生からは多くの質問がなされ、積極的に学ぼうとしているところから、研究内容に関する意見交換は図られたと考えている。

中国の大学院生の質問から気付いたことは、日本と中国という国家の教育システムにはそもそも違いがあるということである。私が伝えた学校づくりの研究については、日本の小学校のほとんどは学級担任制であることを前提に進めてきた。しかし、中国の小学校は教科担任制である。今回の交流では、研究内容を伝える前に大きく教育システムについて伝えていくこと、つまり教育の考え方や方法の違いから伝えていくことが大切であった。両国の教育とその背景についての意見交換が為された時、本来の交流が実現すると考える。